

第9回日本ペルー経済協議会 概要報告

1. 開催期日：2010年4月13日（火）9時～18時30分
2. 開催場所：ホテル・ロス・デルフィネス（リマ）
3. 出席者：総勢239名（日本側）宮村眞平委員長〔三井金属鉱業㈱代表取締役兼 CEO〕はじめ71名、（ペルー側）ルイス・ベガ委員長はじめ168名

4. 総括的概要：

第9回日本ペルー経済協議会を11年振りにリマで開催した。ペルー側からガルシア・ベラウンデ外務大臣はじめ2副大臣、さらに目賀田、カブニャイ両国大使が出席した。会議は日本ペルー経済連携協定(EPA)と租税条約の早期締結の必要性和重要性を中心に討議し、それらを「共同コメント」の形で参加者の総意として発表した。



会場の様子

5. セッション別会議概要

(1) 開会式

ベガ委員長と宮村委員長が開会挨拶をした後、ブリセーニョ全国私企業協会連合会 (CONFIEP) 会長が歓迎の挨拶をした。また、鳩山内閣総理大臣の祝辞を目賀田大使が代読した。

(2) 基調講演「ペルーの成長にむけて」

アラン・ガルシア・ペルー大統領が基調講演を行い、両国間の経済連携協定 (EPA)、日本ペルー租税条約の必要性を強調し、また、資源のない日本が科学技術により経済大国になった事を賞賛し、資源のあるペルーを工業化するために日本からペルーへの技術支援を期待すると述べた。今後のペルーの成長については、対外的には FTA による貿易・投資の促進、国内的にはインフラ事業による雇用増加と消費の拡大を掲げ、政治、経済、社会の安定こそが成長へのキーであるとした。



基調講演の様子

(左から宮村委員長、ガルシア大統領、ベガ委員長)

(3) 第1回全体会議「両国経済の現状と展望」

カルロス・カサス経済財政副大臣はペルーの持続的な経済成長の確実性をアピールし、松尾宏三菱東京 UFJ 銀行執行役員は、海外市場の減速と円高により落ち込んだ日本経済は、中国を中心にアジア諸国向けの輸出が牽引し回復傾向にあるが、未だ課題が多いことを指摘した。

(4) 第2回全体会議「両国経済関係強化と地域経済統合の進展」

エドゥアルド・フェレイロス通商副大臣は APEC と両国間の EPA の重要性を説き、柳田武三日本貿易振興機構(JETRO)理事は「EPA は両国の経済関係強化の切り札」として早期実現が強く期待されていると訴えた。

(5) 特別セッション

ホセ・シルバ・ペルー輸出者協会 (ADEX) 諮問委員会会長、ベルナルド・ムニョス・ペルー貿易観光促進庁 (PROMPERU) 情報・事業企画部次長、ホルヘ・レオン民間投資促進庁 (PROINVERSION) 長官がそれぞれの立場で「ペルーの輸出振興と投資誘致」についてスピーチをした。

(6) 第3回全体会議「両国の分野別ビジネス・ポテンシャルⅠ」

エネルギー・鉱業分野ではカルロス・ガルベス・ペルー鉱業・石油・エネルギー協会 (SNMPE) 鉱業部会副会長、衣川潤三菱商事常務執行役員、川口幸男住友金属鉱山常務執行役員が発表した。製造業ではルイス・サラサーレ・ペルー工業協会 (SNI) 副会長が発表した。

(7) 第4回全体会議「両国の分野別ビジネス・ポテンシャルⅡ」

漁業分野ではリチャード・イヌリテギ全国漁業協会理事と直原太郎 NAL (日本水産) ペルー総支配人が発表した。農業・食品分野ではギジェルモ・ファンオルト・ペルー農業輸出組合協会 (AGAP) 会長と中田智洋サラダコスモ社長が発表した。通信・放送分野では坂中靖志総務省総合通信基盤局電波移動通信課企画官が発表した。観光分野ではフレディ・ガマラ・ペルー観光協会 (CANATUR) 理事が発表した。

(8) 第5回全体会議「両国の中小企業育成・支援」

アンヘル・ネイラ全国小・零細企業開発協会 (CODEMYPE) 代表と中尾誠国際協力機構 (JICA) ペルー事務所長が発表した。特に JICA は一村一品運動の事例紹介とともにこれまでの活動実績を説明した。

(9) 閉会式

宮村委員長とペルー側の各セッション議長 (ベガ委員長、ダビッド・レモル、ラファエル・アロセメナ、パブロ・デ・ラ・フロール、ファン・フランシスコ・ラッフォ、グラシエラ・フェルナンデス各氏) が各全体会議の総括を発表した。(日本側共同議長は宮村眞平委員長をはじめ佐藤悟外務省中南米局長、小川克己三井物産(株)執行役員、藤田文萌 JOGMEC 副理事長、高瀬芳典日秘商工会議所会頭、中山博允中山商店社長が務めた。) 次に宮村・ベガ両委員長が会議出席者の総意として、日本ペルー EPA および租税条約の早期締結を求める「共同コメント」を発表した。最後に宮村・ベガ両委員長が閉会挨拶を行い会議は終了した。



共同コメント署名

6. その他

(1) 晩餐会

会議終了後にペルー側主催の晩餐会が開催され、両委員長による挨拶と記念品の交換、民族舞踊ショーが雰囲気を盛り上げ、また両国参加者の交流が図られるなどして盛会裡に終了した。

(2) ペルー・ビジネス・ミッション

今回の協議会は、2009年11月に来日したガルシア大統領が中小企業分野における日本との協力に関心を示したことから、委員会メンバー以外にも中小企業や支援機関などから幅広く参加者を募り、ペルー・ビジネス・ミッションを組織した。

ミッション参加者は本協議会への参加のほか、「日本ペルー中小企業フォーラム」(概要報告別紙)参加、味の素ペルー工場見学、レセプション等を通してペルー経済やビジネスへの理解を深め、ペルー進出日系企業・現地企業と交流した。また、希望者によるオプションツアーが行われ、鉱業コースはワラス近郊のワンサラ鉱山、アンタミナ鉱山を見学、製造業コースはイキトスのホンダ二輪車工場を見学した。



味の素ペルー工場見学

以上